

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第6号

講座 7 : 千葉県や印西の地層や化石について学ぶ

7月19日(金)、千葉大学教育学部准教授の泉賢太郎先生を講師にお招きして、講座「千葉県や印西市にある地層や化石について学ぶ」を開催しました。

泉先生は、古生物学者としても活躍され、令和2年1月17日、世界中で使われている地質年代に「チバニアン」の名が刻まれたときの研究メンバーとして記者会見にも臨まれました。

誕生から46億年という長い歴史を持つ地球は、いくつもの時代に分類されています。特に、恐竜がいたジュラ紀や白亜紀などは有名で、ほとんどの時代はすでに名前が決められていますが、まだ決められていない時代もあります。

地球の時代を分類するとき、生物の出現や絶滅など、地球規模の大きな出来事を示す化石が使われてきましたが、最近では地磁気(地球が持つ磁場)の逆転現象が起こった時期も合わせて使われています。

千葉県市原市田淵にある地層は、一番新しい地磁気逆転の記録が世界で最もよく残っているため、令和2年1月、時代を分ける境界がよくわかる地層として、世界的に認められました。

このことにより、今までに名前がなかった約77万年前から12万年前までの時代がラテン語で「千葉の時代」を意味する「チバニアン」と呼ばれることになりました。日本の地名になじんだ名前が、世界の地質年代区分につけられるのは初めての快挙です。世界的にも貴重な地層がなぜ千葉県にあるのか。講座では、国指定の天然記念物に指定されている「下総層群木下層」、日本初の全身骨格標本となったナウマンゾウ(印旛沼標本)の特徴など、「地質学的に千葉はアツイ!」そのわけをわかりやすく解説していただきました。



チバニアンの正式記者会見(読売新聞电子版)



地質学的に、千葉はアツい!

千葉県市原市田淵の養老川沿いの地層が、世界的&社会的に注目されている
↓
地質時代の境界を決める国際的な模式地(国際標準模式地)に決定(2020.1.17)



1- 国立極地研究所HP・プレスリリース資料より引用。国際標準模式地の地層は、「千葉セクション」と呼ばれている。層序学的に見ると、千葉セクションは上総層群本層という名称の地層の中の一部である。

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第7号

講座 8 : 順天堂大学オープンキャンパス

順天堂は、江戸後期の天保9年、江戸の薬研堀に設立したオランダ医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の西洋医学塾(天保14年に「順天堂」と命名)です。幕末、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地から俊英が参集し、西洋医学実践の場となりました。現在、順天堂大学は、医学部をはじめ8つの学部が開設されています。



今回は、スポーツ健康科学部が開設されている順天堂さくらキャンパス(印西市平賀学園台)を訪問してきました。7月31日(金)のオープンキャンパスでは、スポーツ健康科学部 涌井佐和子准教授による特別講義「運動の効能について」を受講。年齢と共に少なくなりがちな運動量を増やすための工夫を凝らすことにより、健康はもとより脳の活動の維持にも有効であることを学びました。キャンパス内のスポーツ施設では、体操競技場やスカッシュコートに加え、アスレチックトレーニングルームを併設した OGAWA GYMNASICS ARENA(平成29年竣工)の他、陸上競技場、体操競技場、天然芝ピッチの陸上競技場やサッカー専用スタジアム等々を見学。どの施設もすばらしく、本学からたくさんのオリンピック選手やパラリンピック選手を輩出している理由がわかりました。昼食は、学生さんたちに交じって3号館カフェテリアでランチ。メニューも豊富で美味しい!大満足の日でした。

講座 9 : データセンターについて学ぶ

8月9日(金)、アマゾン・データサービスジャパン合同会社の方をお招きして、講座「データセンターについて学ぶ」を開催しました。市内にはGoogleやAmazonをはじめとする米国を代表するIT企業のデータセンターが次々と建設されており、世界からもデータセンター「INZAI」として注目されています。

データセンターが問題なく稼働しているおかげで、日常生活のオンラインショッピング、SNS等のクラウドサービスを途切れることなく、利用することができます。一方で、データセンターに物理的なトラブルが発生してしまうと、大規模なネットワーク障害が起き、社会的な混乱を招くことにつながってしまいます。そのため、データセンターについては場所も含め、様々な情報が非公開になっています。



📷 講座終了後、みんなで記念撮影

今回の講座ではデータセンターについて、①セキュリティ、②電源供給、③冷却システム、④建設の立地選定基準(洪水・異常気象・地震)、⑤工事の環境対策 ⑥印西市での地域貢献活動などについて、限られた情報の中で、わかりやすく説明していただきました。

令和6年度

印西市民アカデミーだより

第8号

講座 10 : 相続について学ぶ

8月23日(金)、講座「相続について学ぶ」を実施しました。「相続」に関することを現役の弁護士から直接話を聞ける機会は滅多にないので、関心も高く、楽しみにしていた講座の一つです。いざ、お話を伺うと、様々な法律や手続きはどの専門的な知識が必要で、相続が争続にならないよう生前に準備しておくことが大切であるということがわかりました。

1. 相続とは(受け継ぐ側の話)

相続を考えるときは、①遺言はあるか ②相続は誰か、相続人の相続分はどれか ③相続財産は何か、どのように分けるのかの3点がポイントになります。

2. 遺言について

「遺言」とは、遺(のこ)す側の考えです。遺言で決めることは「身分に関すること」と「財産に関すること」の2点。特に法定相続人以外に想定相続分以上残したいときには「遺言」が必須となります。遺言には自筆証明遺言と公正証書遺言の2種類があり、それぞれのメリット・デメリットを比較して準備しておくことが大切です。



👉 弁護士の先生から

講座 11 : 印西のスタートアップについて学ぶ

9月6日(金)、講座「印西のスタートアップについて学ぶ」を実施しました。「人生100年時代」をどう生きるのか? ボランティア、社会貢献活動、趣味、地域コミュニティ活動、元気な限り働き続ける……。生き方はいろいろありますが、人生100年時代では、従来の「教育を受け、社会で働き、定年を迎えて余生を送る」といった、これまでのライフプランが通用しなくなっているのも現代の状況です。

現役で働き続けるためには、①企業等で雇用される、②スタートアップ(起業)する方法があります。スタートアップとは、新規事業を立ち上げる企業や個人のことをいいます。

今回は、印西市商工会の事務局長の九鬼氏からは主に「起業支援について」、また、実際に起業されている「おうち保育園」の八木氏からは、主に「印西で起業した理由」「起業に必要なこと」「起業しての感想・体験談」等について、具体例を交えながらわかりやすく講義していただきました。スタートアップとは、自分からは遠い存在というイメージがありましたが、これからの社会の現実や「学ぶこと」「働くこと」そして「生きること」について、改めて深く考えさせられる講座となりました。



👉 印西市商工会：起業支援



👉 起業から学んだこと

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第9号

講座 12 : 消費生活について学ぶ

9月13日（金）、印西市消費生活センタースタッフを講師に「賢い消費者になるために」というテーマで身近に起こる消費生活トラブルの事例やその対処方法について学びました。いくつかの事例を紹介します。

事例 A：ショートメールで「料金未納のお知らせ」「宅急便の不在通知」「当選通知」が届いたため、返信したところ、誘導されたサイトに個人情報やクレジットカード情報を入力してしまったケース。

事例 B：パソコン操作中、「あなたのパソコンはウィルスに感染しています」と書かれた画面と大手セキュリティソフトを販売している業者の連絡先が表示され、あわてて電話して相手の指示通りに対応したところ54万円支払っていたケース。



消費者トラブル役割演技

「何か変だな？」と感じたときは、「ショートメッセージに添付してあるURLを開かない。」
「問い合わせ先の電話番号が書かれているときは電話をかけない。」不審なメールやショートメールは無視するのが一番です。あわてず、冷静に対応しましょう。 ☆印西市消費センター
「おかしい」と思ったら「一人で悩まず相談」することが最善策です。 ☎ 0476-42-3306

講座 13 : まちづくりについて学ぶ

9月20日（金）、生涯学習課社会教育主事が講師となり、講座「まちづくりについて学ぶ」を実施しました。今回は3～4人のグループに分かれ、次のテーマについて自分で考え、グループで議論し、それらを発表し、他の人たちの意見を聞きながら自らの考えを深めるという形式で行われました。

テーマは次の通りです

- (1) なぜ印西市民アカデミーに参加したのか
- (2) まちづくりとは何か
- (3) 印西市民アカデミー卒業後の進路について
- (4) 印西市民アカデミーに期待すること

リカレント教育とは、学校教育からいったん離れた後も、個々のタイミングで再び教育を行き、そこで得た知識・技術をまた仕事で発揮することを繰り返して仕事に必要な能力を磨き続ける、そのための教育や仕組みを表す言葉です。リカレント (recurrent) は「循環する」「再発する」という意味で、「学ぶ」「働く」を循環して知識・技術を磨いていくさまがこの言葉に表れています。



参加した学生からは「今回の講座は、いつもの正しい知識を習得する講義とは異なり、正解のない課題解決のために仲間とアプローチする学習方法で、とても楽しかった」という感想をいただきました。

令和6年度

印西市民アカデミーだより

第10号

講座14：歴史散策② 結縁寺

9月28日（土）、毎年結縁寺のご開帳日に合わせて開催される本講座を実施しました。

コースは、船穂コミュニティセンター⇒①船尾宗像神社⇒②船尾白山神社⇒③名馬塚⇒④結縁寺・入定塚・熊野神社⇒⑤頼政塚⇒船穂コミュニティセンター(約4km)です。

① 福岡県宗像市に鎮座する**宗像大社**は、日本各地にある宗像神社の総本社で、日本神話に登場する日本最古の神社の一つです。祭神は、市杵島姫命、湍津姫命、田心姫命の三女神で、古くから各地に分霊が祀られており、現在約6,200社の神社に祀られています。印西近郷には印旛沼の北岸に、**船尾宗像神社**も含む13の宗像神社が集まっており、全国的にも特異な地域となっています。

② **船尾白山神社**は、地元では、「いぼ神さま」とも呼ばれています。体にできた「いぼ」を社殿に奉納されている左纏りの縄1本を借りてきて、この縄でこすると治るといふ伝承からこう呼ばれています。「いぼ」が治ったら、同じ左纏りの縄1本をお礼として奉納する習わしがあります。

③ 結縁寺の西南にあるのが、源頼政の首を運んできた馬を葬ったといわれている**名馬塚**です。塚の傍らには刻像塔や文字塔の馬頭観音が十数基あり、馬の好物の人参（人参）がときおり供えられています。

④ 奈良時代初期、行基によって創建されたという**結縁寺**は、広大な寺域に六坊を有する大寺でした。寺名は、平安時代の天慶年間(938~946)に寺に入った真言宗の僧が、春秋二度の「結縁勧請」という仏縁を結ばせる儀式を行ったことに由来するといわれています。この本堂に安置されているのが、国の重要文化財に指定されている**銅造不動明王立像**です。国指定の文化財の不動明王の中で、銅造はこの像を含め3像しかなく貴重なものです。この像を手の届く距離で拝観できるのはここだけです。結縁寺の鎮守である**熊野神社**に登る手前にあるのが、頼政の遺徳を慕って、伊勢の国から訪れた女性が入定したと伝えられている**入定塚**です。塚には小さな石碑が建てられています。

⑤ 治承4年(1180)、平家打倒に挑んだ源頼政は、拳兵に失敗し、宇治平等院の境内で自害したといわれています。この頼政の首を埋めた場所として伝えられているのが、結縁寺の東南の山林にある**頼政塚**です。頼政は、死に際して家臣に「わが首を持って東国に向かい、首が重くなって動かなくなったところに塚を築いて首を葬れ」と遺言したとされており、家臣たちが東国に向かい急に首が重くなったところがこの辺りと伝えられています。

今回の講座は、「結縁寺ミステリーツアー」と題して、学芸員が作成した紙芝居を、自らが読み手となって現地を案内しました。紙芝居は、聞き手には絵の情報のみで、そこに読み手が説明に工夫を加えながら進行していくものです。聞き手は、絵を見ながら、読み手の声を聞き、想像を膨らませながら内容に没頭することができます。受講した学生からは「紙芝居で語られた史跡を実際に見学して、歴史の想像力をかきたてられた」、「歴史的背景をもとにしたのわかりやすい説明のおかげ

で、たくさんのミステリーを感じながら散策することができた」等の感想をいただきました。

